令和８年１１月６日
荒川区立第七中学校
学校だより１１月号
校 長　佐藤　正敏

まごころ便り

～心震える時～

校長　佐藤 正敏

「本日この会場には多くの奇跡が生まれます」

開会式で、ご来場いただいた保護者、地域の皆様に、そのようにお話ししました。

出張のため、前々日のリハーサルを見届けることはできませんでした。しかし、練習期間中に廊下を歩いたり教室を覗いたりして、見てきた生徒達の取り組む姿勢、そして、歌声から、私は自信をもって、そう紹介することができました。

そして、全ての学級が本当に素晴らしい合唱を披露してくれました。

生徒達の本気の合唱には、心を揺さぶる力があります。歌声が、耳に届くだけでなく、心に入り込んでくるのです。「心が洗われた」と言ってくださる来賓の方もおられました。普段、学校で勉強や部活動に励み、廊下ですれ違いながら、日常を見せてくれている生徒達の本気の歌声だからこそ、どんな立派な舞台での演奏よりも価値あるものとして、私たちの心に響くのだと思います。

今年の合唱コンクールのスローガン「軌跡」には、「奇跡を待つのではなく、これまでの苦悩や練習の軌跡があるからこそ」また、「今までの自分たちを信じて」という想いが込められていました。

人はそれぞれ異なる人生や環境を生きており、普段の考えも感じ方も違います。けれども、合唱に向き合うその瞬間だけは、全員がそれぞれの役割を果たし、すべての想いをひとつにして、歌声に変えています。私は、生徒達のこうした姿を「小さな奇跡」と呼んでいます。まさに奇跡とは待つものではなく、自ら創り出すものです。生徒達のこれまでの軌跡があったからこそ、心が洗われるほどの奇跡が生まれたのだと思っています。

また、この感動は、心を開いて生徒達の本気を本気で受け止めてくれた保護者や地域の皆様がいてくれたからこそ生まれたものです。皆様と心震える時間を共有できたこと、深く感謝申し上げます。

歌声に込められた、それぞれの軌跡

音楽科　　千葉　万凜

審査員として参加した今年の合唱コンクール。正直なところ、審査のことなど忘れて、ただ純粋に歌声に耳を傾けていたい。そんな気持ちにさせられるコンクールでした。どの学年も甲乙つけがたい、素敵な合唱ばかりでした。

第七中学校の生徒はみんな素直で、音楽の授業でも楽しみながら全力で歌う生徒がたくさんいます。一方で、クラスの足並みがそろわず、思うように練習が進まなかった時もあったかもしれません。楽しく歌い合った日もあれば、悩み、ぶつかり合った日もあったことでしょう。それでも、そうした一つひとつの時間を積み重ねてきたからこそ、本番で、あれほどの素敵な合唱を届けることができたのだと思います。ステージで響いた歌声の裏には、クラスごとの物語と、一人ひとりの成長がありました。

３年生の皆さん、卒業までまだまだ歌います！　合唱コンクールで深まった仲間とのつながりを大切に、残りの学校生活も歌を楽しみながら、第七中学校を盛り上げていきましょう。

２年生の皆さん、来年の合唱コンクールに向けたカウントダウンは、もう始まっています。　今回の経験を次につなげ、来年はさらに成長した姿と歌声を聴かせてくれることを期待しています。

１年生の皆さん、先輩たちの合唱を聴いて、心は動きましたか？　来年の今頃、第七中学校の中心と

なっているのは皆さんです。先輩たちから受け取った感動を、今度は皆さんの歌声で届けてください。
　合唱コンクールは、本番のステージだけのものではありません。本番に至るまでの努力や葛藤、仲間と過ごした時間のすべてに意味があります。今回の合唱コンクールで生まれた感動や経験が、今年の思い出にとどまることなく、次年度へとつながる新たな軌跡となっていくことを、心から願っています。

金賞受賞　１年２組、２年２組、３年１組

尾久地区「中学生の主張」

10 月 10 日（土）アクト 21 地下ホールにて、第 44 回尾久地区「中学生の主張」発表会が開催されました。第七中学校からは、２年生の玉井日奈理さん、山川詩穂梨さんが代表生徒で登壇しました。玉井さんは、演題「左利きの人生」、山川さんは、演題「失敗は成功するためのデータ」で発表しました。





連合英語発表会

10 月 29 日（木）サンパール荒川　小ホールにて、荒川区連合英語発表会が開催されました。第七中学校からは、３年生の渡邉　陽向さん、２年生の小尾　駿斗さん、１年生の梅田　夏帆さんが代表生徒で登壇しました。渡邉さんは、タイトル”The meaning of learning English”、 小尾さんと梅田さんは、タイトル”Magic Stone”、ペアで登壇しました。
　３年生の渡邉さんは、見事第３位に入賞しました。
　一部を紹介します。

I thought English was just a subject to study before I studied vocabularies and grammars for the tests. Now I think languages can tell us the culture and ideas of the people speaking English. English is more than just a subject to me. It is a way to learn about new cultures and ideas. Through English I want to discover new things about my own country.

Why do you learn English? I believe learning English can be a door to a world we haven’t known yet.

「英語を通して、まだ見知らぬ世界を広げたい」という思いが伝わってきます。英語という教科を単なる「テストのため」や「知識の習得のため」だけと捉えず、英語は一つのツールであり、英語を通じて新しい文化に触れたりや新しい考え方を発見したり、自国への考え方を深めたりできるものとして捉えている渡邉さんの考え方に感銘を受けました。

ボランティア活動

11月１日（日）は晴天に恵まれ、各地でさまざまな催し物が開催されました。

＜荒川区交流都市フェア２０２６＞

日暮里駅前で開かれました。第七中の吹奏楽部の生徒が舞台で演奏しました。全部で３曲を披露し、アンコールの拍手が鳴りやまないほどでした。





＜尾久っ子ワクワクまつり＞

荒川区立宮前公園で開かれました。第七中のボランティア部の生徒が多数参加し、まつりの運営を手伝いました。来場者が参加するゲームや模擬店などの補助スタッフとして、活躍してくれました。

参加の部では、第七中のダンス部の生徒がダンスを披露し、会場を沸かせていました。

＜ダンス部演技＞



＜模擬店コーナー補助＞



＜あらみぃ、あら坊とのふれあいサポート＞



＜片付け＞



12 月の主な予定

12月　1日(火)　三者面談始め
12月　2日(水)　荒教研
12月　9日(水)　三者面談終わり
12月 13日(日)　避難所開設訓練
12月15日(火)　学校保健委員会
12月17日(木)　伝統文化・芸能体験(1年)
12月24日(木)　美化デー
12月25日(金)　終業式

●表彰●

・第45回荒川区立中学校連合英語発表会スピーチ部門　第3位　渡邉　陽向
・第45回荒川区立中学校連合英語発表会パフォーマンス部門　小尾　駿斗
・第45回荒川区立中学校連合英語発表会パフォーマンス部門　梅田　夏帆
・第44回尾久地区中学生の主張発表会　山川　詩穂梨
・第44回尾久地区中学生の主張発表会　玉井　日奈理
・荒川区新人大会　第3位　女子バレーボール部

※敬称略10月30日、11月2日の表彰登壇生徒(代表で登壇した生徒)の名前を載せています。